



自然資本戦略

メディアパルグループでは、流通全体の最適化を通じた環境負荷の低減を進めるなど、SDGsの達成に向けた取り組みを推進しています。

その中で、重要課題(マテリアリティ)の一つとして「脱炭素への取り組み」を掲げ、中長期目標として2030年度に温室

効果ガス排出量50%削減(2020年度比)、2050年度にカーボンニュートラルを設定しています。目標の達成に向けて、さまざまな取り組みを推進し、地球環境に配慮した流通モデルの構築を目指しています。

環境負荷全体像

当社グループは、サプライチェーン全体における環境負荷の可視化と、その低減に向けた取り組みを進めるため、温室効果ガス排出量のScope1およびScope2に加えてScope3の算定を実施しています。

温室効果ガス排出量(自社排出分) 単位: t-CO₂

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Scope1	28,439	31,081	31,208	30,315
Scope2 (ロケーション基準) ^{※1}	-	-	48,649	48,807
Scope2 (マーケット基準)	46,552	42,494	40,518	37,465
Scope1+Scope2 (マーケット基準)合計	74,991	73,575	71,726	67,780

温室効果ガス排出量(Scope3)^{※2} 単位: t-CO₂

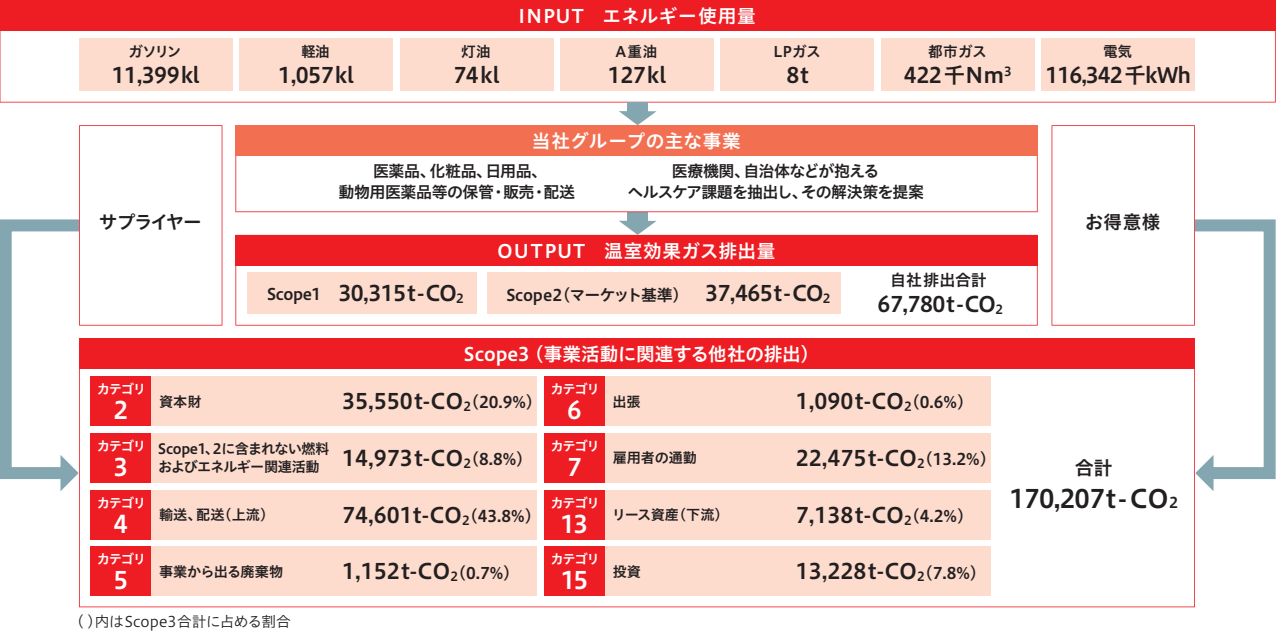
	2022年度 ^{※3}	2023年度	2024年度	2025年度
Scope3 合計	228,773	219,650	185,379	170,207

保有車両の温室効果ガス排出量

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
給油量(kl)	11,329	12,785	12,814	12,456
温室効果ガス 排出量(t-CO ₂)	26,543	29,561	29,679	28,875
車両台数(台) ^{※4}	8,555	9,608	9,555	9,552
車両1台当たり 排出量(t-CO ₂)	3.10	3.07	3.10	3.02

※1 2024年度分より公表 ※2 対象カテゴリ2、3、4、5、6、7、13、15。その他のカテゴリについては精度の高い算定に向けて、再精査中
※3 対象会社: (株)メディアパルホールディングス、(株)メディセオ、(株)エパルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション、(株)PAL TAC、MPアグロ(株)、メディアパルフーズ(株) ※4 3月末現在

サプライチェーン上の環境負荷



生物多様性への考え方

昨今、企業の環境への取り組みにおいて、生物多様性への配慮が求められています。当社グループの事業活動と自然との関わりにおいては、現状では事業継続を脅かすような重大な直接的依存や、自然環境に対する深刻な負の影響は限定的であると考えています。

重大なリスクは現在顕在化していないものの、気候変動や環境破壊の進行により、自然資本の重要性は今後ますます高まっていくと認識しています。当社グループでは、国際的な指標や行政による最新情報を参考に、自然と当社事業との関連性を継続的に評価していきます。その評価結果を踏まえ、事業環境の変化に応じた必要かつ適切な対応策を講じていきます。